

## 身のまわりを清潔にしよう

生活指導部 森木園 幸子

7月生活目標の「身のまわりを清潔にしよう」には、様々な内容が含まれています。例えば①清潔なハンカチを身に付けよう ②清掃の工夫をしよう ③落ちているごみを進んで拾おう ④整理整頓をしよう ⑤荷物を計画的に持ち帰ろう等があります。一つでも自分で目標を立てて実行することが大切です。できるようになったら新しい目標を立てて実行し、できることを増やしていくことが自信へと繋がっていくと思います。

## 副校長より

「理科の電磁石のおもちゃを作っていた。うまくいかない子が、あと一人になり、最後の手伝いをしていた。一週間の終りのほっとした時間だった。「揺れる」グラグラ揺れる。「まず身の安全を!」「あわてて外へ飛び出さない!」東日本大震災の時、6年生の学級担任として私は叫んでいた。すぐに机の下にもぐるよう指示した。教室前方の棚の上にある、入ったばかりの薄型テレビを押さえる。これが倒れたら、机の下の子供がけをする。だが、たった1m先のその場所まで行くのにも、なかなかたどり着けないくらい揺れていた。揺れが続く。「こわいよー、こわいよー、こわいよー」子供たちが叫ぶ。女の子も男の子も。「ああああああ」と叫んでいる。「大丈夫だ」と殊更、落ち着いた声で私は話す。揺れが続く。もう止まるだろうと思ってから、さらに大きな揺れが来る。「これは大変だ」半端な地震じゃない。1階の理科室の窓からブロック塀がばたばた倒れるのが見えた・・・」、私が東日本大震災のときに経験した様子です。

先日の大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震で、一人の児童の尊い命が奪われました。御冥福をお祈りいたします。あの事故以来、どうやったら子供を救えたのかを自問自答している日々です。本校でも、火災や地震・風水(雪)害及び雷等の災害などの発生や不審者侵入等を具体的に想定し、適切に対処することができるようにするための実践的な避難訓練を毎月行っています。また、今後は、災害等の発生の際、幼児・児童や高齢者及び障がいのある人たちの安全にも配慮することや、臨機応変の対応ができる態度や能力を培うことが大切である、と考えさせられました。


私共は、大規模地震(概ね「震度5弱」以上)の地震発生時における登下校時の基本行動を改めて確認しました。

### ◎ 登下校時における措置

- (1) 登校時に大規模地震が発生した場合は、自宅または学校の近い方に避難する。保護者不在が明確な場合は学校に避難する。(帰宅後に保護者が学校へ連絡する。)
- (2) 下校時に大規模地震が発生した場合は、すみやかに帰宅する。ただし、学校が近い場合、保護者の不在が明確な場合は学校へ戻る。
- (3) 登下校時の対応について、特に以下の点を児童に指導を行っていく。
  - ① 自宅または学校の近い方に避難すること
  - ② ブロック塀、自動販売機の側、垂れ下がった電線に近付かないこと
  - ③ 建物の窓ガラス、外壁、広告物等の落下物に注意し、ランドセルなどで頭を保護すること
  - ④ 自分がけがをした場合は、大きな声で助けを求めること

夏休みまで約3週間です。水泳指導も始まりました。子供たちの安全・安心を第一に学校の施設や指導体制等も再確認し、笑顔で1学期終業式を迎えられるように取り組んでまいります。

## ミニコンサート

- 
- |     |        |          |          |
|-----|--------|----------|----------|
| 2-1 | 久我 渚   | ピアノ独奏    | 「かわいいうた」 |
| 2-1 | 松本 眞椋  | ピアノ独奏    | 「金の星」    |
| 2-2 | 山縣 陽花  | ピアノ独奏    | 「アラベスク」  |
| 4-1 | 小倉 千宙  | ピアノ独奏    | 「甘い夢」    |
| 4-2 | 鈴木 千咲登 | 山澤 心春    |          |
|     |        | リコーダー二重奏 | 「まどべのお話」 |
| 6-2 | 岡部 律子  | ピアノ独奏    | 「RAIN」   |

